

# 早混稲門会通信

2020(令和 2)年春号(通算 33 号)

発行：早混稲門会

新型コロナウイルス対応で

## 緊急支援を決定

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)について、世界保健機関(WHO)は3月11日「パンデミックと見なせる」と表明しました。感染は世界中に広がり、人や物の流れ、イベントの中止などその影響が何処まで広がるか見通せない状況となっています。

これに先だち、早稲田大学では2月21日以降矢継ぎ早に対応を発表し、課外活動の中止または延期を要請、卒業式や入学式の中止、新学期の授業開始を4月20日以降に繰り下げるなど、学生の日常生活にも大きな影響が出ています。そして課外活動についても授業開始前日までの活動の中止・延期・施設利用の停止の措置がとられ、新歓活動も中止する事態となっています。

これを受けて早稲田大学混声合唱団では、予定していた春合宿ならびに今春の卒団生によるフェアウェルコンサートを中止せざるを得なくなりました。これらの措置により現役学生の皆さんには相当額のキャンセル料が発生することが判明、早混稲門会では、幹事会としてこれまでの損失に対する救済措置として、その一部となる¥300,000を補填する緊急支援を実施いたしました。

更に3月24日にはこれらの措置が授業開始日の5月11日まで延長されました。この延長により5月2日に予定されていた東京六大学混声合唱連盟定期演奏会には参加不可能となり、演奏会は9月18日に延期することが検討されています。

この稲門会通信についても影響は甚大で、印刷・製本などについてこれまでのように現役に依存することができないこと、稲門会幹事の集まりも自粛せざるを得ないことから、発行取りやめや外注による発行も検討いたしました。しかし事態の推移が不透明で、資金が外部流出するくらいなら現役支援に充てるべき、との考えもある一方、広報の必要性もあることから今回は公開可能な部分についてWEB上での公開で対応することとし、掲載記事の一部は次号に譲ることになりました。

これらの経緯・結果詳細につきましては、開催延期となりましたので時期は未定ですが次回理事会にて報告させていただきます。事態の緊急性を鑑み、会員の皆様にはご理解いただきたいと存じます。何卒よろしくお願いいたします。

## 会長挨拶——ご支援賜り、篤く御礼申し上げます

早混稲門会会長

早稲田大学混声合唱団会長

縣 公一郎

拝啓

感染症の状況と対策が日々変転する中、OG/OBにおかれては、お元気でお過ごしでいらっしゃいますでしょうか。現在全く油断できない状況ですが、この会報をご覧頂ける頃には、冷静に議論される状況となっていることを、心から祈って居ります。

既に本会報の冒頭に記されて居ります通り、早混現役に対しまして、稲門会から緊急のご支援を賜ることとなり、現役会長職と致しまして、心から御礼申し上げます。今回のご支援は、現役にとって全く望外のご助力でありました。洵に有難う存じます。こうした事態に至りました経緯を、本学の状況と合わせて、少し説明させていただきます。

本学がこの関連で最初に方針を明確に致しましたのは、2020年2月23日にて、3月24日（予定卒業式前日）までの本学主催イベントの自粛を要請致しました。これにより、現役諸姉兄は、春合宿、そしてフェアウェルコンサートの実施が叶わなくなり、そのキャンセル経費一部支弁のため、今回のご支援を賜ることとなりました。

次いで、2月27日に、19年度卒業式・修了式、及び20年度入学式の中止が決定され、翌28日には、活動自粛期間が4月5日（予定講義開始前日）まで延長されました。この措置の結果、現役諸姉兄は、20年度の新入生勧誘活動を予定通り実施出来ない状況となりました。そして最終的には、本日3月24日、春学期開始日が5月11日、と定められました。これにより、全てのサークル活動が、合計2か月半程度停止されることとなりました。他学でも、状況は同様と思われ、東京六大学混声合唱連盟第62回定期演奏会は、少なくとも延期となったようです。また、同志社との交歓演奏会もどのようになるのか、今後、現役から状況を聞き、相談していきたいと存じます。

2011年東日本大震災後も、サークル活動は困難に見舞われましたが、今回は、全く異なった展開となりました。現役諸姉兄は今、非常に不安を感じ、また唱えないことをとてももどかしく思っていることでしょう。今後も、OG/OBの皆様、物理的・精神のご支援を願うことがあり得ると存じます。何卒宜しくご理解・ご高配の程、お願い申し上げます。皆様におかれては、くれぐれもお体大切に、お元気でお過ごし為されますよう。

敬具

## 現役責任者挨拶

第 71 代責任者 加藤 寧晃

平素より早稲田大学混声合唱団の活動に対しご理解及びご支援を賜りまして、誠にありがとうございます。

改元後初めて発行される稲門会通信春号ということで、令和も元気に歌うぞ！というような景気の良い挨拶にしようと考えていた矢先、大学より新型コロナウイルス感染拡大防止のために課外活動中止の要請がありました。執筆している現在、既に1ヶ月以上の間練習を中止しています。卒団生演奏会、春合宿、卒業式、入学式、例年通りの新歓も中止となりました。また、5月2日に開催を予定していた六連定演と6月20日に京都にて開催予定だったC.C.D.との交歓演奏会は中止することを決定いたしました。私達の演奏を楽しみにされていた人々に音楽を届けられないことは残念でありませんが、感染拡大防止のため、また先行きの不透明さによるやむを得ない判断であったということをご理解いただきたいと思っております。

前期の演奏会の予定がなくなり、団員の間には少々暗い雰囲気立ち込める状況ではありますが、自粛という判断が適切だったねと言える日が来ることを待ちながら、SNSを用いた新入生向けの情報発信など可能な範囲で行える活動に注力してまいります。また、春合宿と新歓行事のために予約していた施設のキャンセル料に対し、早混稲門会から寄付金をいただけることとなりました。苦しい状況の中でご支援をいただいたことは私達にとって大きな心の支えとなりました。皆様への感謝を演奏で伝えられる日のために、再開への準備を前向きに続けてまいります。

昨年度は、東京六大学混声合唱連盟定期演奏会において、名島啓太先生の指導の下「四人の作曲家による連作ミサ曲『深き淵より』」を、同志社学生混

声合唱団 C.C.D.との交歓演奏会にて本山秀毅先生の指導の下《Lobet den Herrn alle Heiden》を演奏するなど、早混がメインレパートリーとするラテン語・ドイツ語の合唱曲を団外の指揮者の先生とともに合同演奏するという貴重な経験を得ました。八声会交歓演奏会への参加のため静岡県を訪問した他、早稲田大学と自治体の文化交流事業として福島県白河市を訪れ、演奏会を成功のうちに終えることができました。また定期演奏会では、相澤直人、森田花央里といった日本の合唱界を牽引する作曲家の作品を取り扱い、作曲家をお招きしての練習も開催いたしました。さらに早混が本邦初演を果たしたペルトの《Te Deum》を再演するなど、合唱という芸術の現代性、現在性を強く発信することができたのではないかと感じております。

最後に、現在開催が予定されている今年度の2つの演奏会をご案内いたします。

八声会第15回交歓演奏会は軽井沢大賀ホールにて10月17日(土)に佐久レーレルコール(長野県)の方々に主催いただきます。今年度も多くの地域の方と音楽を共有することを使命として活動に励んでまいりたいと思っております。

12月20日(日)にウエスタ川越大ホールにて開催する第65回定期演奏会では、学生指揮者によるステージと八尋先生の指揮によるブラームスのドイツ・レクイエムの演奏を予定しております。

新型コロナウイルスの流行が収束し、それぞれの演奏会が無事開催されることを祈るばかりです。皆様に活動中止期間を経ても衰えぬ鍛えられた歌声をお届けできるよう、団員一同努めて参りますので、変わらぬご声援のほど何卒よろしく願いいたします。

## 70期よりご挨拶

2016年度に入団した私たち70期生も早いもので卒団を迎えることとなりました。本来であれば卒団記念演奏会(FWコンサート)を開催して私たちの4年間を支えてくださった諸先輩方や後輩たちに感謝を伝えるべきところでしたが、今日猛威を奮っている新型コロナウイルスの影響で誠に残念ながら中止という形になりました。楽しみにして頂いた方々に改めてお詫び申し上げます。またこの度の演奏会に係る諸費用について早混稲門会より手厚いご支援を頂きましたことをこの場を借りて御礼申し上げます。

卒団記念演奏会や卒業式が軒並み中止となり、学生生活最後の節目を曖昧な形で迎えてしまうことへの悔しさは尽きません。一方で新歓活動や合宿のみならず、練習などの普段の活動すらままならない現状を抱える現役に思いを馳せると私たちも早混稲門会の一員として現役の活動を積極的に支援していくとともに、早混の更なる発展に貢献していかなばという思いを深めるばかりです。

末筆になりますが、これまで私たちを4年間支えて頂いた早混稲門会会員の先輩方に対して御礼を申し上げますとともに、皆様がお元気でご活躍されますよう祈念しております。

早稲田大学混声合唱団 70期生学年責任者

田中智也

### 寄付の御礼・お願い

16期生の皆様	早混稲門会 様
早混OBOG合唱団 様	

早稲田大学混声合唱団にご寄付をいただきましたことを厚く御礼申し上げます。  
また、この度の新型コロナウイルスの影響に伴い様々な行事の中止・延期を余儀なくされ、早混稲門会様から多額のご支援を賜りました。現役窓口として心より感謝の意を申し上げます。

### OB/OGの皆様へ

今年度は新型コロナウイルスの影響により、第60回早稲田大学混声合唱団×同志社学生混声合唱団C.C.D.交歓演奏会が中止となりました。しかし東京六大学混声合唱連盟第62回定期演奏会は延期の予定です。そこで現役団員の出演・開催にあたって、寄付金を募らせていただきます。早混は、現役団員以外の多くの方々のお力添えもあって存続しております。日頃の皆様のご支援への感謝の意を、現役団員を代表して申し上げますとともに、これからも現役団員へのご協力をよろしくお願いいたします。現役へのご送金には、下記の口座をご利用ください。ご入金にあたっては別途、お名前・ご住所・期(在団年)をお知らせいただければ幸いです。

みずほ銀行 早稲田支店 普通口座 1186298 早稲田大学混声合唱団  
現役窓口：2020年度 OB/OG 外政 谷田部 真聡

【編集より】以下の演奏会は新型コロナウイルス感染症対策のため中止となりましたが、記録のため予定していた内容を掲載させていただきます。

## 早稲田大学混声合唱団演奏会案内

### (1)東京六大学混声合唱連盟第 62 回定期演奏会 <中止>

日時：9月18日 開場・開演時間未定

場所：未定

曲目

早混個別ステージ	六大学合同ステージ
“Magnificat” 作曲 Arvo Pärt 指揮 八尋和美	混声合唱とピアノのための「帆を上げよ、高く」 作詞 みなづきみのり / 作曲 信長貴富 指揮 伊東恵司

### (2)第 60 回早稲田大学混声合唱団×同志社学生混声合唱団 C.C.D.交歓演奏会<中止>

日時：6月20日 開場 13:30 開演 14:00

場所：京都府長岡京記念文化会館

早稲田大学混声合唱団	同志社学生混声合唱団 C.C.D.
1st stage：早稲田大学混声合唱団 Anton Bruckner 作曲 “Locus iste” “Os justi” “Christus factus est” “Virga Jesse” 指揮 鶴田賢一郎	2nd stage：同志社学生混声合唱団 C.C.D. 混声合唱とピアノのための「初心のうた」 作詞 木島始 / 作曲 信長貴富
3rd stage：早稲田大学混声合唱団 Gloria “Missa in Diluvio Aquarum Multarum”より 作曲 Orazio Benevoli 指揮 八尋和美	4th stage：同志社学生混声合唱団 C.C.D. MASS ROMANUM 作曲 Steve Dobrogosz 指揮 本山秀毅
5th stage：合同演奏 Kyrie in D minor 作曲 Felix Mendelssohn Bartholdy 指揮 八尋和美	

#### 【お問い合わせ】

<http://www.soukon.com/contact-us/> (早混 HP)

#### 【学生指揮者より】

今年も5月に東京六大学混声合唱連盟定期演奏会が開催される予定でしたが、世界的に猛威をふるっている新型コロナウイルスの影響で中止となりました。また6月に同志社学生混声合唱団 C.C.D.×早稲田大学混声合唱団交歓演奏会も中止という運びになりました。前期の演奏会が中止になり、楽しみにしていただけいた皆様には申し訳ございません。いち早くコロナが収束し、演奏会が無事に開催されるよう、願うばかりです。皆様におかれましてもお体にお気をつけてお過ごしください。

## 2020 年度現役活動スケジュール

日程	行事名	場所
1月23日	2019年度納会	大隈ガーデンハウス
2月6日	前期総会	リバティホール
2月23日～24日	春期集中練習	国立オリンピック記念青少年総合センター
3月7日	第70期生フェアウェルコンサート〈中止〉	三鷹市芸術文化センター風のホール
3月14日～20日	春合宿〈中止〉	冬桜の宿神泉
4月19日	スプリングコンサート〈中止〉	スコットホール
5月2日	東京六大学混声合唱連盟第62回定期演奏会〈中止〉	東京芸術劇場大ホール
5月23日～24日	新入生歓迎合宿〈中止〉	グリーン向井
6月20日	第60回早稲田大学混声合唱団×同志社学生混声合唱団 C.C.D.交歓演奏会〈中止〉	京都府長岡京記念文化会館
7月4日	新入生演奏会〈延期検討中〉	スコットホール
8月上旬	後期総会	未定
8月6日～7日	夏期集中練習	国立オリンピック記念青少年総合センター
9月1日～8日	夏合宿	ホテル一乃瀬
9月8日～10日	学年旅行	長野県各旅館
10月17日	八声会第15回交歓演奏会〈中止〉	軽井沢大賀ホール
早稲田祭	奏楽彩	大隈講堂
12月20日	第65回定期演奏会	ウェスタ川越大ホール

※新型コロナウイルスの影響で各種行事が中止・延期となっています。

※※秋の奏楽彩は早稲田祭日程の中での開催となり、日程が未定です。

## 2020 年度早稲田大学混声合唱団役員紹介

役職	名前	学部・学年	パート
責任者	加藤寧晃	商学部 4 年	テノール
総務	松苗亮汰	創造理工学部 4 年	ベース
学生指揮者	鶴田賢一郎	文学部 3 年	ベース
学生指揮者	小林良太郎	国際教養学部 3 年	ベース
新入生指揮者	大野翔太郎	人間科学部 3 年	テノール
S パートリーダー	松本真実	法学部 3 年	ソプラノ
A パートリーダー	鋸屋明日香	文化構想学部 3 年	アルト
T パートリーダー	乙川慎	基幹理工学部 3 年	テノール
B パートリーダー	竹口陸斗	先進理工学部 3 年	ベース
会計	今西健太郎	政治経済学部 3 年	テノール
会計	朝熊夕貴	教育学部 3 年	アルト
渉外	青木颯良	創造理工学部 3 年	ベース
渉外	牧野希	人間科学部 3 年	ソプラノ
渉外	山口晃一	先進理工学部 3 年	ベース
S パートマネージャー	武市英実	教育学部 3 年	ソプラノ
A パートマネージャー	山田奈津子	教育学部 3 年	アルト
T パートマネージャー	緒方陸人	創造理工学部 2 年	テノール
B パートマネージャー	福島悠太	創造理工学部 2 年	ベース
内政	井上敦詞	社会科学部 3 年	ベース
内政	池田茉由子	文学部 3 年	アルト
編集	横山美帆	政治経済学部 3 年	ソプラノ
編集	津久井真菜	人間科学部 3 年	アルト
庶務	志摩洋太	スポーツ科学部 3 年	ベース
施設担当外政	長岡由里子	法学部 2 年	ソプラノ
施設担当外政	眞田悠加	教育学部 2 年	ソプラノ
六連外政	椎根萌香	文化構想学部 3 年	ソプラノ
六連外政	田村百恵	文学部 2 年	ソプラノ
OB/OG 外政	谷田部真聡	商学部 3 年	テノール

## 第 64 回定期演奏会 アンケート結果(抜粋)

文責：2020 年度渉外 青木颯良

### 総評

第 64 回定期演奏会は 955 人の方々にお越しいただきました。直近数年間では最少となってしまいましたが、お越しいただいた方々の感想は概ね好意的な内容でした。

運営面での目立った反省は、休憩時間が長すぎるというご指摘を複数いただいた点です。ステージ毎に「このステージは〇時〇分までにお越しいただければ途中から聞けます」と事前に案内していたため、予定より演奏時間が短縮されたことへ柔軟に対応できなかったことが原因です。

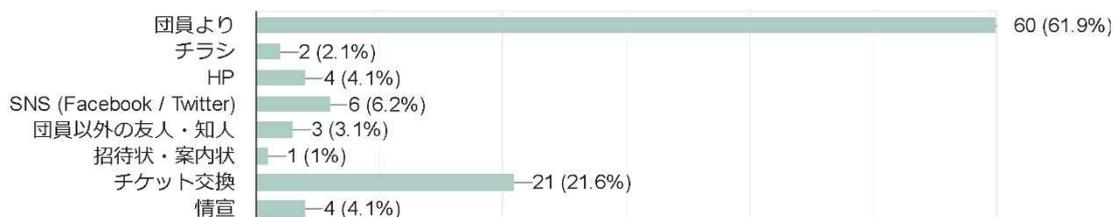
### 客層



アンケートの回収結果では大学生が過半数を超えました。以降、多い順に 20 代、高校生以下、50 代、60 代、以上、40 代、30 代でした。同世代は言うまでもなく、現役生と接点のある 20 代の OBOG の方や後輩の高校生など比較的年齢の近い客層が中心的事業であることが推測されます。加えて、50 代以降は現役生の父母・祖父母の世代であり、一定数お越しいただいていることから、相対的に 30-40 代のご来客が少なくなったことがうかがえます。

今回の演奏会にご来場いただいたきっかけは何ですか？

97 件の回答



また、別の集計から過半数のお客様が団員の紹介や宣伝をきっかけとしてお越しいただいていることが分かります。Web 上でのチケット販売なども実施しておりますが、大多数のチケットが団員の手売りであることから、大学生と接点の少ない社会人の集客が課題となっております。

### 演奏に対する感想(抜粋)

#### 1 ステ

・流麗なメロディを歌い上げるソロやテナーの声がめちゃくちゃ好きでした。「訪れ」とかもっとリズムが見えてほしかったなどはありますが...

・女声はいい声が出ていたと思います。男声のテンポ感(リズム)が難しいと思いますが、それ故、入りが甘いところがあったかと。バラバラの聞こえたところがあったため、女声・男性のミックスを考えるとより良い演奏になると思います。少し硬かったかも。音楽のうねりがもっと出せたと思います。

・エール良かったです！早混が歌うとこうなるのですね。(初めて早混聴きに来ました。) 学指揮でここまでステージが作れるのが凄いなと思いました！

・Sop.のサウンド(特に高音)が硬直気味で言葉が聞こえづらいきらいはありました。曲想のさわやかさとか、とても前面に出ていて、この作品の演奏を早混の今年のサウンドでもう少し言葉のフレージングにレガート感が欲しいかも(?) 聴けて良かったなと思います！！

## 2 ステ

・ずっと生で聴いてみたい作品でした！！嬉しいです。冒頭の **Vocalise** からひきこまれました。男声の響きの明るいサウンド好きです。作品の一貫した物語が演奏から見えてきて良かったです。ピアノ全開で聴きたかったかもしれないです。合唱がよく鳴っていたので...

・歌のハーモニーとトーンチャイムが見事に調和していて、我々を幻想へと連れて行った感じでよかった。

・幻想的な曲想が貴団の発声・音色にとってもマッチしていると思いました。特に、一曲目のアカペラが心に響きました。欲を言えば、2.3 曲目でピアノ全開でピアノと共奏して欲しかったです。

## 3 ステ

・耳に残り続ける **D** の中、表情様々に移ろう和音が美しい曲でした。弦楽器の音や歌手の声はどっから出ていたのか...押し殺したような声から華やかな声、そして最後の遠ざかっていく **Sanctus** の音色がどれも良かったです。最初と最後の緊張感のあまり、息ができませんでした。

・はじめと終わりの演出めっちゃよかった！！ペルトっぽいな~って感じやっぴータイム長い！

・オケが何度も繰り返すフレーズが印象的でした。2 階席のためかハーブがどこで鳴っているのか分かりませんでした。終始厳かな空気感がよく出ていました。

# 最近の大学合唱団事情

OBOG の皆様には学生サークルの動きはなかなか知ることがないと思われるので、今回は学生団体について着目してみた。というのも 2019 年は早稲田の学生音楽界に大きな変動があったからだ。大きな動きの第一は、2018 年に創設された早稲田大学女声合唱団が第 1 回演奏会を開催し、いよいよ本格的な活動が目に見えるようになってきたこと。そして第二は日本女子大学との合同サークルとして活動してきた室内合唱団が昨年 11 月の 60 周年記念演奏会を最後に解団したこと、である。どちらの団についても早混に現役学生としてかかわった方(つまり兼団していた)があるので、その辺の事情を含めて原稿を頂戴したのでご覧いただきたい。

女声合唱団については昭和 30 年代にグリークラブの女声部門という形で創設されて活動していた団体があった。かつて、故 平野雄彦さん(早混 3 期)にうかがった話では「数少ない早稲田の女子を勧誘するため早混のポスターを貼るのだがたびたび破られるので、物陰に隠れてみていたらグリーの連中が破っていたのでとちめてやった」ということだった。その時はなぜグリークラブが早混の勧誘を邪魔するのがわからなかったのだが、女声合唱団の勧誘と競合するからと知って納得した。今回の女声合唱団はそれとは全く無関係に始められたということだが、第 1 回演奏会にはかつての女声合唱団メンバーも駆けつけたという。

室内合唱団は 1959 年の設立。当時歌声運動団体だった早大合唱団から奥島元総長らが脱退して活動を始めた。歴代 4 人の常任指揮者により指導され、ある時期からルネサンス・バロックの音楽に特化した活動で独自の地位を築いていた。2016 年 3 月に OB 会が活動を停止、近年は現役の演奏会も早混やコールフリーゲルからの応援を得てなんとか 10 数名で開催するなど、メンバー不足に苦しんでいた。日本女子大ではかつて 100 人を超える大規模な合唱団(女声)がコンクールなどでも名をあげていたが、今日では 20 名ほどになっている。ほかの女子大も同じような状況で、女子大の合唱活動はかなり困難な時代を迎えているようだ。室内合唱団の女子大メンバーもほぼ枯渇状態にあったらしい。

早稲田だけを見ていると気がつかないが他大学の合唱事情はかなり厳しい。かつての関西コンクール金賞団体の神戸市外国語大学混声合唱団は 1997 年の定演が最後となりその後は少数の女声メンバ

一だけで活動していたというが、OBOG にも最後の状況は知られないままに消滅してしまった。

混声六連当初の構成団体だった法政大学混声合唱団は昭和 50 年ころにはアカデミー合唱団とほぼ同等の規模を維持していたが 2009 年に活動を停止した。

またこれを書いているときに飛び込んできた情報だが、札幌大谷大学輪声会(女声)が今年 2 月の第 52 回定期演奏会を持って活動を休止したという。最後の定演メンバーは 7 名で 4 年生が 4 人。八尋先生とかつてカルテットで歌っていた故宍戸悟郎さんが手塩にかけた団体で、平成の初期にはコンクール北海道大会で 4 年連続金賞、一時はシードにもなった名門。宍戸さん亡き後は則武正人さんが指導していたが、団員減少によるやむを得ない措置、ということで復活を目指している。

獨協大学混声合唱団は 1998 年に定演を行ってから団員数が一桁に減少、一時は 4 人になるなど苦しんでいたが 2016 年にブログを開設して団員募集と広報を積極化し 2018 年に 19 年ぶりに定演を再開させた。

晋友会(故関谷晋さんが指導していたグループ)メンバーでもある東京経済大学グリークラブは数年前 8 人まで人数が減少し、新歓やチラシ配布などまで OB 会が手伝ってテコ入れしようやく少し復活しつつある。

名門の関西学院グリークラブも 10 年ほど前には 30 人程度までメンバーが減少、やはり OB 会がテコ入れし、リサイタル(彼らは定期演奏会をこう呼ぶ)に合同ステージを組み入れて大規模合唱の魅力を実感させるとともに、高校の後輩を関学に入れてグリーに勧誘するという涙ぐましい努力の結果再び隆盛に向かった。

しかし、ひところ 6 人まで減ってしまった法政大学アリオンコールは六連の個別ステージを 2 年間持てなかった。おそらく苦肉の策だろうが女子メンバーも受け入れることでサークルを維持し、最近ようやく 10 人程度まで盛り返してきたが、まだまだ危機的な状態が続く。

広島大学グリークラブもメンバー減少により一桁のメンバーが OB とともに活動し、単独ステージを持つことができないでいる。

首都大学エリカ混声合唱団は都立大キャンパス移転の影響もあって一時は団員がいなくなり、OB

会が新歓活動して復活させ、現在は 60 名あまりで活動するようになったという感動的な歴史を経てきている。

学生の本旨は勉学にあり、サークル活動などなくなっても構わない、という考えもあるかもしれない。しかし、企業の採用担当からみればサークル活動で団体生活を経験してきた学生は組織にとっては魅力的だ。特に少子化の時代、兄弟もなく、小規模の付き合いしか経験していない人より、大規模なサークルで様々な人間関係に遭遇し、しかも団の役員などを務めた経験があればなおのこと、協調性やコミュニケーション力の点で評価が上がるのは当然だろうと思うが、いかがだろうか。

早稲田でもかつての女声合唱団やコール・ムーゼが消滅している。今の現役音楽団体としては交響楽団が 300 人超の大所帯で、一時は自前のメンバーで

合唱付きのプログラムを組んだことがあった。今でもその気になればできるかもしれない。合唱では混声合唱団・グリークラブ・合唱団が 100 人規模の大規模団体だった。しかしグリークラブは昨年約 80 名まで減っており、20 名が卒団する今年はこのままではさらに減少しかねない。またかつては早稲田生のみで構成していたコール・フリーゲルはいつの間にかインカレとなり他大生が 1/3 を占めている。一度の新歓失敗は長く影響が残り、衰退の原因となる。指導者の交代や大学のキャンパス移転などがあると一気に団員事情が厳しくなるようでもある。環境変化の内容は様々だが成り行きに任せず、環境変化に敏感に反応し対策を怠らないことが、持続的活動には必要だといえるだろう。

(文責 石井)

## 早稲田大学・日本女子大学室内合唱団解団について

早稲田大学・日本女子大学室内合唱団 60 代団長 山本 哲也

私は、早稲田大学混声合唱団 69 期生、ならびに早稲田大学・日本女子大学室内合唱団におきまして 60 代団長を務めておりました、山本哲也と申します。

突然のご連絡となりますが、長い間早混とも交流がありました、早稲田大学・日本女子大学室内合唱団が、昨年をもちまして解団することになりましたことを、ここでご報告させていただきます。

室内合唱団は、例年ルネサンス・バロック期の教会音楽を東京カテドラル聖マリア大聖堂にて演奏してまいりました。近年では、常任指揮者の青木洋也先生のもとで歌わせていただき、昨年 60 周年という節目を迎えました。

ここ数年は早混からも私を含む数名の団員が室内合唱団を兼団したりと、2 つの団の間で大変良い交流ができたと思っております。しかし、最近は団員数の減少との戦いでもありました。必死に団員増加に向けて活動してまいりましたが、残念ながら

2020 年度からは合唱や運営を行うのに十分な人数を確保できないと判断いたしまして、この度解団することを決断いたしました。

先述の通り、2019 年は室内合唱団が創立されてちょうど 60 年ということもあり、昨年 11 月 29 日に 60 周年記念演奏会として、東京カテドラル聖マリア大聖堂にて J.S バッハ作曲の「マタイ受難曲」を OBOG 団員の皆様と一緒に演奏させていただきました。当日は早混の方を含む大変多くのお客様に恵まれまして、大変心に残る演奏会となりました。ご来場いただきました方々には、改めて御礼申し上げます。

室内合唱団はこれをもちまして解団となりましたが、これからも OBOG 団員の皆さまそして指揮者の青木先生とともに、周年演奏会などを通して我々らしい音楽を響かせていきたいと考えています。その際は、ぜひ聴きにいらしてください。何卒、よろしく願いいたします。

## 100 年続け！早稲田大学女声合唱団

玉木希実

2018 年の春、一人の女子大学院生と一人の男子大学生が立ち上げた合唱団。それが早稲田大学女声合唱団（以下、わせ女）でした。2018 年度の活動で徐々に団員も増え、先日（2019 年 10 月 26 日）の

第一回演奏会では 20 名弱の団員とともにスコットホールで歌うことができました。

申し遅れましたが、私は早稲田大学混声合唱団 73 期生であり早稲田大学女声合唱団にも所属してお

ります玉木希実と申します。私自身がわせ女に入っ  
たのは2019年の4月でした。早稲田大学には本当  
にたくさんの合唱サークルがあり、どこも魅力的で  
したが「早稲田大学『唯一』の女声合唱団」であっ  
たわせ女は他よりも輝いて見えていたような記憶  
があります。高校時代は混声合唱部だったため女声  
合唱に興味があったこと、一度山脇卓也さん（合唱  
団お江戸コラリアーズなどで指揮をしていらっし  
やる方）のもとで歌ってみたかったこと、そしてな  
により新歓ブースで出会ったわせ女の先輩方がと  
ても面白かったことが、私のわせ女入団を決めまし  
た。わせ女の魅力はその独特なおもしろさのように  
思います。

「わせ女」というと、どこかとっつきにくいイメ  
ージがあるかもしれません。ですが一度早稲田大学  
に足を踏み入れた女たるもの、その素質を持ってい  
ない者はいないのではないのでしょうか。そういうわ  
げか、わせ女の雰囲気はとても面白い活動方針を生

んでいるように感じています。そして先日行われた  
初演奏会の演目にもそれは色濃く現れていました。  
北欧の美しい女声合唱作品からJ-POP、そして現代  
邦人作曲家の難しくも素晴らしい曲など、多岐にわ  
たるプログラムを演奏しました。もちろん合唱でも  
運営でも様々な困難や苦労がありましたが、山脇さ  
んやボイストレーナーの小林音葉さん（東京混声合  
唱団団員）をはじめとした指導者の方々、団員を支  
えてくださったご家族、友人の方々、そして何より  
私たちの演奏を聴きにきてくださった方々のおか  
げで無事に演奏会が開催できたのだと思います。

2020年度から創団3年目を迎えるわせ女は今ま  
でよりもさらに活動の幅を広げるとともに、早稲田  
の大学合唱を盛り上げる一端を担っていけるよう  
に邁進してまいります。機会がございましたらこの  
記事を読んでいる皆様にも私たちの演奏を聴いて  
いただけたら幸いです。

## ・理事会開催予定

下記により開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、当面の延期を決定しました。事態が落ち着き開催の目途が立ちましたら、あらためて各学年理事宛にご連絡差し上げますので、その節は何とぞよろしくお願いいたします。

1. 日時 7月5日(日)10:30 → 延期・時期未定
2. 会場 早稲田奉仕園 You-i ホール → 未定
3. 議事内容 平成31 令和元年度事業実績・決算報告  
令和2年度事業計画・予算案  
その他

### 早混稲門会の理事とは

1998年に故田辺洋二先生の提唱により早混稲門会の設立が決まりました。具体的な動きとしてまず有志による発起人会が開催され、組織の大枠が決められました。早混の現役時代の同期を単位とし、その代表による理事会を最高意思決定機関とすることが固まり、当初の理事は各学年の現役時代に責任者などを務め、学年を代表すると思われる人物を発起人会が指名しました。各学年による選任を待っていたのでは組織を発足できないという現実的な判断でした。この時すでに接触があって学年の連絡担当にふさわしいと確認できた場合は、役員経験などがなくても当初の理事に就任したケースもあります。

当初の規約は学年から各1名の理事としていましたが、混声合唱団なのに男性ばかりの理事会はいかなものか、という議論があって、各学年2名を選任できることに改められました。男女1名ずつ選任されることを期待していますが、学年の事情はまちまちですので規約上の制約は設けていません。

理事は固定的なものではなく、学年の総意によって変更することができます。当初の指名のままになっている場合も同期会などの機会に学年で追認されることを期待していました。当初は一方的に決められたという不満の声もありましたが、設立以来20年が経過し実際に理事が交代した学年もあり、多くの学年でオーソライズされているものと認識しています。

## ・早混稲門会合唱団 ～今年『クレーの絵本』(ピアノ伴奏版)!

昨年 10 月の稲門音楽祭個別ステージでは、柳嶋耕太さん(58 期)の指揮で「Bach"Jesu, meine Freude" (抜粋)」、「ぜんぶ」(相澤直人作曲)等を演奏しました。また、特別企画「第九」は多くの皆さまのご参加とご協力をいただき、成功裏に終えることができました。まことにありがとうございました。

稲門会合唱団は、第 2、第 4 日曜日を基本に月 2 回練習をしています。当面、演奏会の予定はありませんので、時間をかけてじっくり歌い込んで行く計画です。

現在の練習曲は三善晃「クレーの絵本(ピアノ伴奏版)」です。『クレーの絵本』は、早混が委嘱初演した作品ですが、今回は人数や難易度の関係で、混声三部合唱・ピアノ伴奏版を練習しています。オリジナルは無伴奏ですが、ピアノ伴奏が追加され、編曲にも手が加えられていて、別作品の趣きがあります。また、並行して、ルネサンス期の宗教曲やマドリガルなどの小品も合わせて練習しています。

恒例の稲門音楽祭は、今年 10 月 18 日(日)の実施。例年参加している個別ステージのほか、今回は音楽連盟企画で「古関祐而」の作品を紹介する案(会場:大隈講堂)が進行中で、何曲か歌うことになっています。もちろん、野外フラッシュモブも計画しています。

個別ステージは「クレーの絵本」を中心に、現在選曲検討中です。

現在の登録メンバーは 20 人ほどです。多くの皆さんと早混合唱タイムをご一緒できればと思います。

皆様のご参加をお待ちしています。練習会場に直接ご越してください。

=====

### ■ 練習予定

・場所：久世練習場

・時間：13:00～16:00

・練習予定日：5/ 10, 24、6/ 14, 28、7/ 12, 26、8/ 9, 23, 30、9/ 13, 22, 27、10/ 11, 18<稲門音楽祭>

\*時間変更、練習日変更・追加の場合は、HP でお知らせします。

・会費： 2000 円/月

=====

## ・稲門音楽祭 2020

1. 日程 10 月 18 日(日)午後

2. 会場 早稲田大学内(10 号館が改修のため 6 月頃決定予定)

早稲田大学では毎年の創立記念日近くの日曜日にホームカミングデーを開催していますが、その来場者やご家族・ご友人・その他の早稲田ファンの皆様楽しんでいただく「稲門祭」を大学校友会が主催して開催しています。その中でも音楽関係のイベントは、集客の上でも楽しみの上でも中心的な役割を占めるようになってきました。「稲門音楽祭」は 70 年近い伝統ある音楽サークル 13 団体の OBOG 会で構成される稲門音楽連盟が主催して稲門祭の中で開催しています。

中心となるのは 13 団体すべてが出演する第一会場(どこになるかは未定です)ですが、軽音楽系が出演する大隈庭園や大隈講堂の空き時間など、その年の企画次第で複数の会場が予定されます。

今年の音連企画は「古関裕而」。丁度今年 4—9 月の NHK 朝ドラ主人公でもあることから選定されました。古関さんは早稲田の応援歌を数多く書いているだけでなく、慶応の応援歌もあり、プロ野球の阪神・巨人の応援歌も作曲、さらには高校野球甲子園大会歌や歌謡曲・ヒット曲を多く作曲しています。これらの楽曲を音連ならではの様々な組み合わせで聴かせる楽しいステージを企画提案しています。

早混稲門会でも例年通り稲門音楽祭に参加し、この企画内でも一部を担当することとなります。

## クレーの絵本に関して.....中園道夫

(筆者の了解を得て Facebook 投稿記事から転載しました)

早稲田大学混声合唱団が創立 30 周年定期演奏会(1978 年 12 月)の為に委嘱した曲なのですが、思うところがあり経緯などについて投稿することにしました。(作詩：谷川俊太郎先生、作曲：三善晃先生)当時私は大学 3 年で学生指揮者をしていました。「30 周年の節目なので思い切ったことをやりたい」という思いは団員の中に強くありました。今では委嘱は珍しくないようですが、当時はアマチュア団体による委嘱の前例は皆無に等しく、大それたことをしたものだと思います。三善晃先生は、団の演奏実績も多く人気も絶大であったので(恐れ多いことなのですが)他の選択肢はほとんど考えませんでした。委嘱の際には、「こんな感じの曲を作って下さい」というように、曲のイメージを提示し作曲家に詩を選んで頂くのが通例でした。しかしながら、(なんと無謀にも)詩まで我々から提示することにしました。このプロジェクトは、技術委員(パートリーダー4名と指揮者(私))が中心となって進めましたが、ソプラノパートリーダーが谷川俊太郎氏の詩集を携えて部室(半地下の穴倉)へ。パウル・クレーの絵に詩をつけた一連のもの。読んだ瞬間に「これは行ける」と直感したことをよく覚えています。

### 「パウル・クレーに関して」

この曲集は、画家クレーと詩人と作曲家の(時代と国を越えた)3 人のコラボレーションで生まれたと言っても過言ではありません。その意味で、まずは谷川俊太郎先生の絵本(クレーの絵本：1995 年 10 月発行(講談社))の後書きから抜粋します。

【以下抜粋】「魂の住む絵」(前略)クレーの絵は抽象ではない。抽象画には精神は住めても魂は住めない。若いころから私は彼の絵にうながされて詩を書いてきた。(中略)私はクレーの絵の中に、日々の生活の現実からかけ離れていながら、人をそこに立ち戻らせる深い感情を見てきた。その後、ある出版社でクレーを絵本にする企画がもちあがったとき、私は自分でも思いがけないいくつかの短詩を書くことが出来た。(中略)結局は日の目を見なかったそのクレーの絵本が、今回初期作も含めた新しい形で初めて実現した。(後略)【抜粋終わり】

この元々の企画を持ち出した出版社はどこかわかりませんが、1970 年代前半ではなかったかと思います。このクレーに関わる一連の詩は、別の詩集の一部として発表されており、それを我々が目にしたことになります。

クレー(1879-1940) は、スイスのベルン郊外で、音楽教師の父と声楽家の母の元で生まれ、幼少からバイオリンに親しみプロ級の實力。その後、祖母から手ほどきを受けた絵画の道に絞り、1898 年からミュンヘンへ。1914 年春から夏のチュニジア旅行が、(独自の画風を模索していた)クレーの作風を一変させることになったようだ。我々が目にするもののほとんどの絵画は、この時期以降の鮮やかな色彩のもの。1914 年に第一次世界大戦が勃発、クレーは 3 年近く従軍し唯一無二の親友を失っている。1919 年の終戦以降は、ナチスの台頭の時期でもあり、クーデター未遂で収監されていたヒトラーが「我が闘争」を世に出したのは 1923 年。差別思想とその後の迫害に欧州が揺れていた時期。1933 年ナチス政権成立。(退廃芸術と見做された)前衛芸術への弾圧も強まり、クレーは活動の拠点であったドイツを離れ、スイスに亡命。皮膚硬化症を発症。それでも 1939 年には多くの作品を残したが 1940 年没。

谷川俊太郎氏の詩集を携えて八尋和美先生(指揮者)とともに、三善晃先生のお宅(杉並区)を訪問したのは、定演の年(1978 年)の 2 月初め。グランドピアノが置かれた部屋で、その時に三善先生から頂いたお言葉は昨日のここのように覚えています。「谷川さんの詩は好きなので、一度作曲してみたいと思っていました。八尋先生から早稲田の混声合唱団のために曲を作って欲しいと頼まれた時から、これは私がやらねばならない仕事だと思っていました。一生懸命に作ります。」ほっとして緊張が一気にほどけた瞬間でした。

その後、8 月 27 日に 4 曲の手書き楽譜を頂き、最後の 5 曲目が完成したのは、11 月 11 日。我々の提案したのは 7 曲ぐらいだったと思いますが、うち 3 曲は提案通り。残りの 2 曲は同じ詩集の別の詩が採用されました。アカペラ 2 曲、ギター伴奏 2 曲と懸垂シンバル付き 1 曲でした。(今でもユニークですよ)題名

は、混声合唱とギターのための組曲『ポール・クレーの絵による「絵本」のために』でした。12月13日の定演(指揮：八尋和美先生)にて初演。翌年の4月にNHK FMにより(スタジオ収録版が)放送され、同7月にカワイ出版から出版されました。出版の際に、「クレーの絵本」と改題されましたが、副題として上記の名称は残されています。その後、同じクレーの絵の詩集から5曲が作曲されたので、「クレーの絵本第一集」とさらに改題されたのです。(こんな歴史を持つ曲はあまり聞かないですよ)さらには、三善晃先生と谷川俊太郎先生のペアで次々と作品が作られ、我々はその流れを作るきっかけになったようです。ギターと懸垂シンバルという特殊な形態の組曲なので、出版されたとは言え、世の中には広まらないだろうと思っていたのですが、42年後の今でも知名度が衰えていないのは望外の喜びです。

1994年には、混声3部合唱とピアノのための組曲「クレーの絵本第1集」が出版されました。早稲門会合唱団で譜読みを始めていますが、三善晃先生の巻頭のコメントを拝読し作曲の意図が今頃になって読めてきたように思います。(ちなみに、ピアノの難度は高いですが、実に魅力的な(フランス音楽の香りの漂う)和音進行の曲集であり、もっと演奏されても良いと思います)

三善先生の巻頭のコメントから抜粋します。

《痛みのお泉から祈りの声を》(前略)ポール・クレーの絵から谷川俊太郎の詩に到る精神の表象は、その鮮明な色彩と言葉にもかかわらず、いや、それだからこそ、世界中の人間たちの心に鋭く重い傷みを喚び起こさずにいられない。(中略)そのときの傷みは純粋な祈りになる。傷みによってではなく、傷みから歌いだす祈りの言葉。(後略)

組曲の構成は以下の通りで( )内は絵画の制作年です。

1. 階段の上の子供(1923)
2. あやつり人形劇場(1923)
3. 幻想喜歌劇「船乗り」から格闘の場面(1923)
4. 選ばれた場所(1927)
5. 黄色い鳥のいる風景(1923)

前述のごとく、欧州は第一次世界大戦の後の混乱期(第二次世界大戦前夜)にあり、特にドイツではナチスの台頭により差別思想が蔓延しつつあり前衛芸術への圧力も強まっていた時期です。クレーはこの閉塞感のある時代の中で色彩感あふれる一見抽象的に見える絵を描いていわけですが、その心の中は絵とその題名から推察できます。谷川先生はそれを詩にし、三善先生はそれを受けて曲を作ったわけです。4曲目(選ばれた場所)の作曲が3カ月遅れた理由がわかったような気がします。

そこにはクレーの絵がある。

詩の中の象徴的な言葉を、以下の通り無理やり抜粋しました。

1. かいだんのうえのこどもに きみはなにもあたえることができない しぬことができるだけだ
2. あやつられていると知っているから きみはよるそんなにもふかくねむる
3. それはいつかどこかでほんとうにおこったたたかい(中略)なまぐさいくちのなかへ まるごとあなたはのみこまれる
4. けれどそのくらやみのさきに おおきなあなのようなものがみえる
5. きいろいとりがいるから すべてのせかいとかたちとうごき せかいがある

## 会員が活躍している合唱団情報

※会員の皆様が出演される演奏会情報や団員募集などの記事を募集しています。稲門会通信は年2回発行、全国の会員1,400人に発送しています。

原稿は概ね800字、原稿の字数外で参加している早混OBOGの氏名と期を付け加えていただければ幸いです。思いがけない出会いがあるかもしれません。

### 横浜合唱協会～演奏会報告・創立50周年記念祝賀会(2020.6.6)・ドイツ演奏旅行～

2020年2月29日 第70回定期演奏会は、新型肺炎の影響で自粛が相次ぐ中、みなとみらいホールのご協力のもと感染防止に最善を尽くして開催されました。当団新記録となる1760枚ものチケットが売れましたが、やむなくご来場を見合わせた方も多数。それでも新世代古楽オーケストラ「オルケストル・アヴァン＝ギャルド」さんの素晴らしいアンサンブルと共に、785名の方に口短調ミサをお届けすることができました。終盤の小川明子先生の圧巻のAgnus Dei、「やめるも地獄、やるも地獄、どちらが正解かわからない」というマエストロの挨拶からのアンコール Dona nobis pacem は、その場に居合わせた観客、演奏者全員が感動を共有した素晴らしい瞬間でした。

2020年6月6日には、創立50周年記念演奏会&祝賀会を開催します。約40年間ご指導いただいた八尋和美先生をお招きし、バッハやメンデルスゾーン等の曲を歌います。古株の会員はもちろん、八尋先生の指揮で歌うのは初めてという新しい会員も、先生の指揮で歌えるのをとても楽しみにしています。八尋&柳嶋の初共演も楽しみの1つです。

2020年9月にはドイツ・ライプツィヒの聖トーマス教会などで、現地合唱団アミチ・ムジケとのジョイント演奏会や現地音楽祭へ参加し、堅田優衣さんへの委嘱初演作品、Jesu, meine freude、ブルックナー e-moll ミサ、口短調ミサなどを歌います。

2021年6月には、メンデルスゾーンの大曲「エリヤ」を海外のオーケストラ・合唱団とのジョイントコンサートとして演奏します。

横浜合唱協会は J.S.バッハ声楽作品の本格的な演奏を目指して1970年に発足したアマチュア合唱団です。2018年からは柳嶋耕太さん(第58期2006年度学生指揮者)を常任指揮者にお迎えし、毎週土曜日18:00～21:00に約80名が練習しています。詳しくは当団HP、facebook、Twitter などをご覧下さい。

※6/6の50周年記念演奏会は開催延期となりました。

### 日本ラトビア音楽協会合唱団ガイスマ(2020.6.13)

バルト三国に「歌の祭典」という大規模な合唱祭があることは、ユネスコの無形文化遺産に登録されたこともあって最近ようやく知られるようになってきました。日本ラトビア音楽協会合唱団ガイスマは、ラトビアの首都リガで5年に一度開催される「歌の祭典」に2013年、2018年の2回連続参加を実現しています。これはガイスマがラトビア語の歌ばかりを歌っている合唱団ということで、例外的に在外ラトビア人合唱団と同等という評価を得てオーディションを経て参加したものです。

ラトビアは長く他国に支配された歴史を持ち、歌うことが民族のアイデンティティを確認する唯一の手段でした。100年余り前の最初の独立時にいち早く承認を与えた国の一つが日本だったことなどから大変な親日国です。人口は200万人にも満たず、ラトビア語を話す人口は150万人程度という小国ですが、だからこそ遠い日本にラトビア語の歌ばかりを歌っている合唱団があることが彼らにとって驚き

であり喜びであり誇りでもあるようです。そんな関係を大切にしながら友好親善を図るべく活動しています。昨年は大統領や国会議長の来日歓迎レセプションに招かれて歌うなどの名誉ある活動にも参加しています。

今年のガイスマは、地域の合唱祭や大使館行事への参加が中心となりますが、祭典 150 周年となる 2023 年の歌の祭典への参加を目指しています。今から練習に参加して 16,000 人の大合唱に参加してみませんか？練習は毎月第 2,4,5 月曜日、主に田端駅近くのスタジオ・アンダンティーノで行っています。いつでも見学歓迎です。下記に事前連絡してからおいでください。

連絡先 E-mail : gaisma141@gmail.com

【演奏予定】 <中止>

6 月 13 日(土) 第 33 回渋谷区民合唱祭(於 渋谷区文化総合センター大和田さくらホール)

※この合唱祭は中止になりました。

## レクイエム・プロジェクト 東京いのりのとき合唱団(2020.7.25 など)

2020 年は阪神淡路大震災 25 周年、終戦 75 年にあたります。25 年前の 1 月 17 日午前 5 時 46 分に発生した阪神淡路大震災は、1923 年 9 月に起きた関東大震災以来の大震災でした。

レクイエム・プロジェクトは阪神淡路大震災の追悼行事「いのりのとき」に端を発した合唱プロジェクトで、上田益さんのオリジナル作品により犠牲者の追悼と未来への希望を歌いつつ、日本人の災害に負けない心を世界に届ける活動を続けています。

今年終戦から 75 年という節目のシーズンとなり、東京いのりのとき合唱団は千代田区役所ロビーでの被爆ピアノイベントに参加するほか、国内各地で下記のようにコンサートが開催されます。東京での開催は厳しい会場事情に押されて 2021 年にずれ込みましたが、東日本大震災から 10 年の追悼をテーマとして 5 月 4 日にコンサートを開催する予定です。

各地の合唱団が団員を募集しています。興味がある方は是非一度見学にお越しください。お問い合わせは下記団員のほか主宰の上田益まで。音源も公開しています。

ホームページ : <https://www.composer-ueda.com/requiem-project>

メール : requiem@music.nifty.jp または tokyoinori2017@gmail.com

【演奏予定】

2020.7.25(土)13:30 レクイエム・プロジェクト仙台 2020 (於 カトリック元寺小路教会)

2020.8.22(土)13:30 レクイエム・プロジェクト広島 2020-1 (於 幟町教会多目的ホール)

2020.8.23(日)14:30 レクイエム・プロジェクト広島 2020-2 (於 幟町教会平和記念大聖堂)

2020.10.4.(日)13:30 レクイエム・プロジェクト長崎 2020 (於 浦上天主堂)

2020.10.18(日)未定 第 41 回千代田区コーラス・フェスティバル(東京いのりのとき合唱団が出演:日経ホール)

2021.3.7(日)午後予定 レクイエム・プロジェクト大船渡 2021(於 大船渡市民文化会館リアスホール)

2021.5.4(祝)午後未定 レクイエム・プロジェクト東京 2021 (於 紀尾井ホール)

## Chor FLAT(コール・フラット)第 16 回定期演奏会(2020.8.2)

メールアドレス : chorflat@gmail.com

ホームページ : <https://www.sites.google.com/site/chorflat/>

Facebook : <https://www.facebook.com/Chor-FLAT-191791600852300/>

Chor FLAT は、平成 16 年(2004 年)に第 52 期生をはじめとするメンバーが設立して以来、様々なバックグラウンドの仲間を増やしながら東京で活動の幅を広げている混声合唱団です。年に一度の定期演奏会(2 月~3 月)と東京都合唱祭(7 月)への参加を中心に、仲間達とともに歌を楽しんでいます。(当団の特色や詳細は上記ホームページもご参照ください。)

2019年秋の稲門会通信でご案内させていただいたコール・フラット第16回定期演奏会について、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、当初予定していた2020年3月29日(日)から2020年8月2日(日)に延期することといたしましたので、再度ご案内させていただきます。

第一ステージでは新実徳英作曲のやさしい魚を、第二ステージでは令和という新しい時代を迎え東京オリンピックも近いということで、スタート&応援ソングを集めた企画ステージを、そして第三ステージでは客演指揮者として八尋和美先生をお迎えし、早混でも馴染みのあるPalestrinaのStabat mater dolorosa(他2曲)を歌います。

皆様には万障お繰り合わせのうえ、ご来場の程よろしく願いいたします！

#### Chor FLAT 第16回定期演奏会

令和2年(2020年)8月2日(日) 13時開場・13時30分開演

於 浜離宮朝日ホール

(都営地下鉄大江戸線築地市場駅下車A2出口すぐ■朝日新聞東京本社新館2F)

全席自由 1,000円

♪新実徳英 作曲 やさしい魚

♪企画ステージ

♪Palestrina 作曲 Stabat mater dolorosa、Super flumina Babylonis、  
Sicut cervus desiderat

指揮 八尋和美・谷本喜基・谷崎禎治(52期)

ピアノ 畠山正成

#未就学のお子様は、「企画ステージ」にご入場になれます。

他の曲は親子休憩室でお聞きになれます。

#お問い合わせ先：演奏会担当：南 貞博 ([chorflat@gmail.com](mailto:chorflat@gmail.com))

## 早混 OB・OG 合唱団のご案内(2021.5.15)

### 【演奏会の予定】

- 第17回早混 OB・OG 合唱団演奏会 2021年5月15日(土) 紀尾井ホール
- ・指揮：八尋和美先生、大貫浩史先生、
- ・ソプラノソロ：榎本桂子先生
- ・曲目：①チルコット「故郷」  
②メンデルスゾーン「詩篇55番」  
③女声合唱12の歌とロマンス(ブラームス)  
④その他、オペラ・アリアメドレー、「小夜曲」(男声合唱)など

### (団員募集)

第17回演奏会は、混声合唱、女声合唱、男声合唱と面白いステージ構成になっています。

大貫先生の指揮で歌うチルコットの「故郷」は、日本のうたによる混声合唱曲集で誰もが知っている旋律を元にチルコットが独創的なスタイルで東洋と西洋を結び付けています。

八尋先生のステージでは、メンデルスゾーンの詩篇55番を歌います。ここではソプラノソロが重要な役割を果たしますが、今回は早混 OG でもある榎本桂子先生にご登場いただくことになりました。榎本先生はスイス在住でヨーロッパや日本をはじめとして国際的に活躍中のソプラノ歌手です。

変化にとんだステージを八尋先生、大貫先生の指揮で一緒に歌ってみませんか。

見学大歓迎！是非、お気軽に声をかけてみてください。

(連絡先) 大内孝夫(23期) [cdo90120@par.odn.ne.jp](mailto:cdo90120@par.odn.ne.jp)

## ヒルズ・ロード・コーラス(2020.12.13 ほか)

ヒルズ・ロード・コーラス(<http://www.hr-chorus.com>)は、大貫浩史(44期：後藝大音楽科卒、テノール)の追究する「美しい調和」と「音楽エンターテインメント」を軸とし、アマとプロの両団員が一緒に練習し、楽しみながらさらなる飛躍を目指しています。

主催公演である定期演奏会の第1回を2012年に開催し、本年の2月で第8回を迎えた若い混声合唱団です。

定期演奏会ではこれまでに、ブラームス、ブルックナー、ヴェルディ、フォーレ、バーバー、ラター、フォレスト、メシアンらのクラシック作品を中心に、武満、三善、木下牧子らの邦人作品、知られざるキャロルを多く集めたクリスマス・コンサート等など幅広いプログラムを披露してまいりました。最近ではオーケストラを組織し共演を重ねています。そのほか他団体からの依頼演奏では、「バチカンより日本へ祈りのコンサート」(2015,16,17,19)にて、モーツァルト「レクイエム」、ロッシーニ「小荘厳ミサ曲」のロッシーニ歌劇場管弦楽団との共演(2019 サントリーホール)、アーンドラーテ歌劇団のヴェルディのオペラ「ドン・カルロ」「イル・トロバトーレ」「ナブッコ」への出演等をいたしました。

現在、総勢70名(内プロ団員13名)で、毎週木曜夜に秋葉原、春日、赤羽等で、大貫音楽監督のもと練習を重ねています。本格的なコーラス曲に挑戦する意欲あるOB・OG諸氏の参加を、団員一同心よりお待ちしております！

見学等問合せ先 [mail@nucky.me](mailto:mail@nucky.me) (今井、志村)

### ■主催公演

※両公演とも指揮/音楽監督は大貫浩史

- ・「第9回定期演奏会 クリスマスコンサート」

2020年12月13日(日)14:00 予定

杉並公会堂大ホール

ブリテン「キャロルの祭典」

フヴォシュチンスキー「アヴェマリア」ほか

- ・「第10回記念特別定期演奏会」

2021年10月前後、詳細未定

## 混声合唱団「四季の会」(2021.2.24 団員募集中)

1962年に早混卒団者(11, 12期)によって設立された混声合唱団です。

在学中に大隈講堂で演奏したハイドン作曲オラトリオ『四季』が忘れられず『四季の会』と命名しました。

その後多くの先輩が参加されました。【早混が世に送り出した合唱団の第1号です】(以上常套句です)

現在は杉並区に拠点を移し一般の合唱団として活動しており、常時仲間を求めています。

旧聞に属する画期的出来事としては【1983年全日本合唱連盟の推薦によりザルツブルグ音楽祭に参加した事】です。

約30年間指揮者を務められた前田二生氏(8期)は早混第1回定期演奏会の指揮者でもありました。

前田先輩は四季の会を去られた後、プロ指揮者に転向され主としてウィーン他海外でオーケストラ・合唱団を指揮され、2010年9月10日オーストリア共和国より「オーストリア科学・芸術第1等級榮譽十字章」を授与されました。

今や四季の会、早混そして早稲田大学の誇りとなっております。

【次の演奏会】2021年2月24日(水)第3回日唱コーラス・フェスティバル(一般社団法人日本合唱協会主催)

予定演奏曲目：ヴィヴァルディ作グロリア(抜粋)、童謡メドレー

【指揮者】(正)松井永太郎(東京芸大音楽科卒、二期会)、(副)中園道夫(早混30期、学生指揮者)

【伴奏者】大橋響子(東京音大卒, 大学院修了)、【歌唱指導】高橋初花(早混 59 期, 藤原歌劇団)  
【練習日時, 会場】第 2、4 木曜日 18:30~20:30、高円寺「ギャラリー久」(JR 高円寺駅徒歩 7 分)  
【選曲】「古典から現代曲まで伴奏付とアカペラをミックスし初級者から上級者までという発想」で選曲しています。  
【その他】ホームページは『混声合唱団四季の会』で検索願います。先輩達の歌われた曲が網羅されています。  
お問い合わせは.....南 隆(11 期)まで. ([nan-ryuh@kj8.so-set.ne.jp](mailto:nan-ryuh@kj8.so-set.ne.jp)、 042-735-2014、  
070-2664-0300)

## 早稲田大学校友会費納入のお願い

早稲田大学校友会は、早稲田大学の第一回卒業生が出た翌年、1885（明治 18）年に発足して以来、日本全国世界各地に組織を広げて活動しています。

早稲田大学卒業生は大学を卒業すると同時に校友会員となりますので、入会、退会という概念はありません（学部在學生は準会員です）。「校友会規則」では、「会員は、所定の会費を納入するものとする」とされています。また、「校友会は主として会費を納入した会員に対し、事業を行なう」と定められており、特に会費納入者の方へのサービス充実に努めています。

校友会は皆さまのご参加により運営され、校友会を通して、大学の運営にも参画できます。各登録稲門会から、代議員が選出され、最高議決機関・代議員会を開催。中枢を担うのは、同様に校友から選出された幹事の方々。代表幹事、常任幹事らが参加する幹事代表者会ならびに各委員会では、校友会活動について熱い議論が交わされています。皆様も世界に広がる校友ネットワークにぜひご参加ください。

## 幹事会より

早混稲門会では、皆様の校友会費納付実績に基づき「組織強化補助費」の配分を受けています。

校友会費は稲門会支援のほか、大学のホームカミングデーに合わせて開催される「稲門祭」や母校支援としての奨学金原資、100 円朝食や校友会支援講座の開催などに使われています。詳しくは早稲田大学校友会のホームページ(下記 URL)をご覧ください「早稲田学報」が届いていない方は、校友会費の納入をよろしく願いいたします。

<http://www.wasedaalumni.jp/>

## 演奏会カレンダー

日時(開演時刻)	タイトル	会場
2020.5.2<中止>	東京六大学混声合唱連盟第 62 回定期演奏会	東京芸術劇場コンサートホール
2020.6.6<中止>	横浜合唱協会創立 50 周年記念祝賀演奏会	横浜市南公会堂
2020.6.13<中止>	第 33 回渋谷区民合唱祭	渋谷区総合文化センター大和田さくらホール
2020.6.21<中止>	早稲田大学混声合唱団×同志社学生混声合唱団 C.C.D.交歓演奏会	京都府長岡京記念文化会館
2020.7.4 <延期検討中>	早稲田大学混声合唱団新入生演奏会	早稲田奉仕園スコットホール
2020.7.25(13:30)	レクイエム・プロジェクト仙台 2020	カトリック元寺小路教会
2020.8.2(13:30)	Chor FLAT 第 16 回定期演奏会	浜離宮朝日ホール
2020.8.22(13:00)	レクイエム・プロジェクト広島 2020-1	幟町教会多目的ホール
2020.8.23(14:00)	レクイエム・プロジェクト広島 2020-2	幟町教会世界平和記念大聖堂
2020.10.4(13:30)	レクイエム・プロジェクト長崎 2020	カトリック浦上教会(浦上天主堂)
2020.10.17<中止>	八声会第 15 回交歓演奏会	軽井沢大賀ホール
2020.10.18(12:30 頃)	稲門音楽祭	早稲田大学
2020.10.18(未定)	第 41 回千代田区コーラスフェスティバル	日経ホール
2020.12.13(14:00)	ヒルズ・ロード・コーラス第 9 回定期演奏会	杉並公会堂大ホール
2020.12.20(未定)	早稲田大学混声合唱団第 65 回定期演奏会	ウエスタ川越大ホール
2021.2.24(未定)	第 3 回日唱コーラスフェスティバル	未詳
2021.3.7(未定)	レクイエム・プロジェクト大船渡 2021	大船渡市民文化会館リアスホール
2021.5.4(13:30)	レクイエム・プロジェクト東京 2021	紀尾井ホール
2021.5.15(未定)	第 17 回早混 OG・OG 合唱団演奏会	紀尾井ホール
2021.6(未定)	横浜合唱協会第 71 回定期演奏会	未定
2021.10 頃	ヒルズ・ロード・コーラス第 10 回記念特別定期演奏会	未定

※※ 新型コロナウイルスの流行により開催予定が変更になる事がありますので、各団体のホームページなどで確認の上行動されるようお願いいたします。

会費は、2000円/年です。

既に複数年度納入いただいた方にも毎春払込票をお送りしております。

出来るだけ複数年度ご納入くだされば幸甚に存じます。

振替用紙の通信欄には期・卒業年を明記してください

昭和⇒S 平成⇒H 西暦下二桁

例 55期05年卒 or 35期S60

ご夫婦は一枚の振込用紙にてご入金くださってかまいません。その際、メモ欄もしくはご依頼人のところにお二人のお名前をお書きください。

また、金額に相違がある場合はその旨もご記入ください。

振替用紙の金額欄には、金額をご記入ください。

ご入金の際は、なるべくATMをご利用ください。

会費の納入に関してのお問い合わせは中川までお願いいたします。

会計担当 中川 <sup>いっお</sup> 幸郎 (21期)

✉ [nakagawaituo@jcom.home.ne.jp](mailto:nakagawaituo@jcom.home.ne.jp)

## 早稲稲門会からの お知らせ

### ♪ 住所変更は必ずご連絡ください

出が義務付けられており、氏名・卒年程度の情報提供をする事がありますが、非公開を希望される方は申し出てください。

### ♪ 会員住所録の取扱状況について

早稲稲門会は、個人情報保護法の観点から、名簿発行は行っていませんが、早稲稲門会通信の発送などのため会員の情報は必要なので、出来る限り正確なものをめざしつつ、限られた幹事が管理しています。

なお、同期会開催の通知等、正当な理由で要請があった場合、名簿管理者が相手方に連絡を取り、本人の了承を得た上でお知らせすることにしております。また、大学校友会には所属稲門会として名簿提

お問い合わせ・連絡 ↓

☎170-0013 東京都豊島区東池袋 2-34-13

早稲稲門会

☎090-6941-0603

✉ [info@soukon-toumonkai.com](mailto:info@soukon-toumonkai.com)

<http://soukon-toumonkai.com/wp/>

\*\*\*\*\*編集委員よりのお願い\*\*\*\*\*

「返信ハガキ」は、例えば「元気です」など一言でも結構ですので書いてくださればOB/OGからのメッセージコラムに掲載させていただきます。皆様のご連絡を楽しみにしておいでになる方が沢山いらっしゃいます。本コラムを是非ともご利用くださるよう宜しくお願い致します。(K)

新型コロナウイルスの感染拡大という異常な状況下での発行となってしまいました。集会等の自粛により一番影響を受けるのが文化活動であり、このような中では残念ながら音楽は何の力にもなりません。しかし、何もかも自粛で気持ちが落ち込んだときに人々を慰め、励まし、力づけるのは音楽をはじめとする芸術の役割だと思います。些細な力ではありますが、皆様の心の慰めになればと思いながら今回は編集を進めました。(I)

早稲稲門会通信 2020年春号 2020.04.

発行/早稲稲門会